



2024(令和6)年10月号

一度は疑問に感じるのでは？

みなさんこんにちは。

十月になり、少しずつ秋の気配を感じられるようになりましたね。

さて、十月は旧暦で「神無月」と言います。一説によれば、この季節は「全国の神々が島根県の出雲大社に集まるため、多くの地域で神が不在になる」と言われたことに由来しているそうです。

なので、島根県では古来、十月は「神無月」ではなく「神在月(かみありづき)」と言ったのだとか。

「神」といえば、浄土真宗では有名な話があります。それは、親鸞聖人の遺徳を讃えた伝記『御伝鈔(ごでんしょう)』に書かれた熊野霊告の段「下巻第五段」です。

紙面の都合もあるので、かなりザックリしたあらすじですが…

【各地での教化を終えて親鸞聖人が京都に戻ってから、各地のお弟子さんが、聖人の説かれた教えについて尋ねるため京都へ足を運んだ。その中に、平太郎というものがいて、「地元で仕えている領主に熊野参拝のお供を仰せつかったが、自分は聖人のお示しくださった阿弥陀如来の救いを一心に信奉している。その自分が熊野参拝で神社に参することは、聖人の教えに背く行為ではないかと心配している。」と言ったのです。それを聞いた親鸞聖人は「熊野本宮の熊野権現は、阿弥陀如来の化身である(本地垂迹「ほんじすいじゃく」)。なので、阿弥陀如来のお救いを信じる者が主君からの断り切れない命令で熊野へ参拝しても問題ない。ただし、信奉していない作法(神社での礼拝作法)ではなく、あくまでも平常通りの作法(称名念

仏)でお参りするよう。」と言われました。それを聞いて安心した平太郎は主君との熊野参拝に際し、神社の礼拝作法をせず、平常の作法(称名念仏)で参拝したのですが、その夜、平太郎の夢に熊野権現が現れ「なぜ神社の作法で参拝しないのか？権現を軽んじているのか？」と問うのです。そこに親鸞聖人が現れ「この者(平太郎)は親鸞の教えによって念仏するものである」と権現に告げると、権現は姿勢を正して、夢の中の親鸞聖人に敬屈の礼(腰を深く曲げて礼を表す作法)をして去った。後日、このことを聖人に告げると「そうであろう、そうであろう」と仰った】

この話は、自分の信奉していない所に参拝するときの心構えを示してください。私たちは、あくまでも念仏一つで良いのです。

9月の東久留米分院の様子

境内清掃奉仕

9月1日(日) 午前8時～

当日は7名の方が参加してくださいました。暑いなか、本当にありがとうございました m(_ _)m 境内が広いので、まだまだ手が足りていません。どうか、ご参加お願いいたします!

秋季彼岸会

9月23日(月祝) 午後1時～ 法話: 大中真慶 師(栃木県 法得寺)

故人を偲ぶ大切な法要ということで、昨年よりも多い27名の方が参拝されました。初めて参加された方の中には「初めて参加したけど、とても有意義だった。お寺でも、こんなに気軽に参加できる楽しい行事があるとは知らなかった。」という感想を話してくださる方もおられ、主催者としては大変うれしく思いました。



法要の様子



お預かりした過去帳は仏様の前に奉呈



講師の大中[おおなか]先生



9月がお誕生日の方々と

その他のお知らせ

東久留米分院より

【築地本願寺銅板懇志について】

- 現在、築地本願寺では、重要文化財である本堂の屋根改修工事が計画されています。改修では、現在の屋根と同じく銅板を葺いて行うのですが、それに際して銅板懇志（寄付）の募集を行っています。懇志いただいた方は、今回使用する銅板の裏側にお名前を記載させていただき、これが後世へ残る貴重な記録になるのです。募集締め切りは、11月16日（土）までとなっております。懇志希望・詳細を聞きたいという方は築地本願寺へご連絡ください。

東久留米分院 主管 伊藤法友

築地本願寺コンタクトセンター TEL 0120-792-048

奉 讃 会 より

【築地本願寺報恩講参拝について】

- 報恩講とは、親鸞聖人の祥月命日に遺徳を偲んで行う法要のことで、浄土真宗では最も大切にされている法要です。東久留米分院の本院である築地本願寺では毎年11月11日から16日まで行っており、東久留米分院も、毎年団体参拝を行っています。今年は11月16日（土）の10時からの法要に参拝する予定としていますので、是非ご参加ください。参拝席確保の都合がありますため、**参加希望の方は10月28日（月）までに東久留米分院へ電話・FAX等で申込ください。**皆様の参加をお待ちしています！

会長 熊谷 武

TEL 042-474-6787 / FAX 042-472-9475

※なお、東久留米分院の報恩講は12月14日（土）に行います。

東久留米分院の 行事案内

—Schedule—

▶ 10月の行事予定

境内清掃

10月6日(日) 午前8時頃から

皆さんが気持ちよくお参りできるよう、毎月第1日曜に行っていますが、まだまだ人数が足りません！皆さまのご協力をお待ちしています！

常例法座

10月13日(日) 午後1時～

ご講師：荒木 尚太 師(東京都 浄雲寺)

仏さまのお話を分かりやすくお話しくさいます。皆さま、是非ご参加ください！

お経の読み方(お勤め)を学ぼう！

10月13日(日) 常例法座引続き

いつも読んでいるお経、本当にこれで良いの？と不安な方、全然読めないから読めるようになりたい！という方、是非ご参加ください。

▶ 11月の行事予定

常例法座

11月10日(日) 午後1時～

ご講師：平野 俊斉 師(千葉県 中原寺)

仏さまのお話を分かりやすくお話しくさいます。皆さま、是非ご参拝ください！

先月のご進納

【お仏飯米】

加藤吉長様

【その他】

安西信子様

(順不同)

誠にありがとうございます。

編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただきありがとうございます。

秋のお彼岸が過ぎたころから急に朝晩の気温が下がってきましたね。とはいえ、日中の気温は、まだまだ高い日もあるので、服装も脱衣・着衣ができるものを選ぶなどして体調管理に気を付けましょう。

東久留米会館会報「ともしび」

通刊 342号

発行日 2024年10月1日

発行者 伊藤 法友

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話 042-474-6787

その他のお知らせ